上部消化管内視鏡検査（経口）を受けられる方

上部消化管内視鏡検査をご希望の方は、下記及び裏の説明内容を必ずお読みいただきますようお願いいたします。

【検査時の注意事項】

《食事について》

《午前受診》検査前日夜 21 時まで消化の良いものをお取りください。アルコール・乳製品・野菜・海藻類の摂取は控えてください。

《午後受診》検査当日朝 7 時まで軽くお粥・素うどん、またはゼリーをお召し上がりいただけます。

◎検査前について

1．血圧を下げる薬・心臓の薬・抗血栓薬は検査予約時間の 3 時間前までに服用ください。
その他の薬は主治医にご確認ください。

2．お水または白湯は飲んでも構いません。

3．検査当日の状況により検査予約時間通りに開始・終了できない場合がございます。予めご了承ください。

4．ネックレスやピアス等の貴金属はおはずしください。

◎検査後について

1. のどの麻酔が効いていますので、1 時間くらいは飲食や喫煙はしないでください。
組織検査後の食事はやわらかめで腹八分目の食事にしてください。
また当日のアルコールや刺激物の摂取、長時間の入浴、激しい運動は避けてください。

2. 注射（しない方もいます）や喉の麻酔の影響で喉が渇いたり、目がﾁｶﾁｶしたり、軽い動悸がしたりしますが、30～60 分程度するとなくなります。また脱力感、冷や汗、気分不快の症状があればご連絡ください。

3. 検査後は空気が胃や腸に入るため張った感じがありますが、さらに強い腹痛や黒い便（出血）がでた場合はご連絡ください。

鎮静剤（注射による麻酔）をご希望の方へ

＊別途料金がかかります。

＊お電話での事前予約が必要で、先着順となります。
WEB で日程変更した場合も再予約が必要です。必ずお電話にてご確認ください。

＊検査当日は、自動車・自転車・バイクの運転はできません。
ご自身の運転での来院はおやめください。

＊薬の効果には個人差があります。

2025 年 4 月より、75 歳以上の方の鎮静剤はお受けできません。（裏面参照）

上部消化管内視鏡検査（経口）の説明と問診

1．食道・胃・十二指腸（上部消化管）内視鏡検査の施行にあたって、以下の項目にお答えください。
（当てはまる□に☑をお付けください）。

①今までに胃内視鏡検査を受けたことがありますか？

□いいえ　□はい

②下記に該当する病気で現在通院中のものがありますか？

□該当なし　□不整脈　□心不全　□狭心症　□心筋梗塞　□高血圧　□緑内障　□糖尿病　□脳梗塞

□前立腺肥大　□B 型肝炎・C 肝炎　その他感染症（　　）

③抗血栓薬（血をサラサラにする薬）を飲んでいますか？＊当院では今回の検査では、休薬の必要はありません。

□いいえ　□はい　→　薬名（　　）

④アルコール・キシロカイン（歯科で使用する麻酔）でアレルギーを起こしたことはありますか？

□いいえ　□はい　→　薬名（　　）キシロカインのアレルギーがない方は喉の麻酔で使用します。

⑤鎮静剤使用を事前に予約していますか？　＊鎮静剤の当日の申し込みは受付しておりません。事前予約制となります。

□いいえ　□はい

⑥入れ歯や差し歯など取り外せる歯がある。

□いいえ　□はい

⑦　現在授乳中ですか？＊女性の方のみお答えください。

□いいえ　□はい　　＊はいの場合鎮静剤の使用はできません。

2．検査（前処置も含む）に伴い起こりうる偶発症について、消化器内視鏡学会第７回全国調査によると
上部消化管内視鏡検査（経口）自体による偶発症は 0.044%（2300 人に一人）と報告されています。（消化管の裂傷・穿孔、出血、前処置に使用する薬剤によるアレルギー・ショック、誤嚥性肺炎、顎関節の脱臼、歯の損傷、その他予期せぬ偶発症など）

3．鎮静剤（静脈麻酔）による偶発症について

・静脈麻酔による偶発症（呼吸抑制や血圧低下）は 0.048%（2000 人に一人）、静脈麻酔による死亡は 0.0012%（83,000 人に一人）と報告されています。

・特に高齢者で発生しやすいため当施設では 75 歳以上の方は静脈麻酔は行いません。

4．検査が原因で喉の痛み、腹痛などが出現することがあります。通常は１日以内に消失しますが、持続する腹痛、嘔吐、吐血、黒色便等がありましたらご連絡ください。

5．その他
この検査に関して、緊急の場合や医学上必要が生じた場合は、医師の判断で検査を中止することがあります。また偶発症が発生した場合は最善の処置を行います。必要に応じて、組織検査を行う場合もあります。これらは保険診療で行います

（西暦）　　年　　月　　日

日産自動車健康保険組合　日産ﾒﾃﾞｨｶﾙ　医師名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上部消化管内視鏡検査の同意書

今回の検査内容について、説明を十分に理解し、必要であると判断いたしましたので、実施に同意いたします。

（西暦）　　年　　月　　日

受診者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

検査・処置に伴う鎮静剤（静脈麻酔）についての説明書および同意書

【目的】

検査・処置を行う際に不安や不快感、苦痛を少なくする目的で、お電話で事前予約された方には静脈からの鎮静剤の投与を行っております。

効果は個人差があり、鎮静剤を注射することで眠ってしまう方もいますが、ほとんどの方は『ぼんやりしている』『うとうとしている』 という状態で検査を受けることが出来ます。必ずしも完全に眠る状態での検査とはなりません。

また 74 歳以下の方であっても、併存疾患等のため、鎮静剤の使用が出来ないと担当医が判断した場合は、ご希望があっても鎮静剤の投与は行いません。

【副作用・偶発症とその対策】

（1） 呼吸抑制：呼吸する力が落ちることがあります。また舌が空気の通り道をふさいでしまい、呼吸状態が悪くなることがあります。この場合は酸素投与を行ったり、空気の通り道を確保する器具をのどに入れたり、早期に対応を行えるように、検査中は血液中の酸素飽和度を測定するモニターを装着します。

（2） 不整脈・血圧の低下・徐脈（脈が遅くなること）：酸素飽和度のモニターで脈の様子を見るようにしています。異常が認められた場合には、必要な対応を行います。場合によっては検査を中止することがあります。

（3） 誤嚥性肺炎:気管に入った異物を除去する力が低くなって肺炎になることがあります。

（4） 神経症状：めまい・ふらつき、頭痛、興奮（脱抑制）、震え、健忘（投与前後のことを忘れてしまうこと）、悪夢、等が起きることがあります。

（5） 過敏症：じんま疹やかゆみの出現、アナフィラキシーショック等が起きることがあります。

（6） 悪性症候群：発熱と筋肉の強直がみられる稀な病気です。入院し、専用の治療薬を使用します。

（7） まれに血管に対する刺激により、検査後 1 週間くらい（時に 1 ヶ月くらい）、注射の跡が堅くなったり、紫色になったりすることがありますが、必ず元に戻りますのでご安心ください。

上記のような副作用が受診者様の状態や検査などの影響により起きることがあります。なお、偶発症・副作用に対する治療は保険診療で行い、費用の負担が発生いたします。

【注意点】

◆ 静脈麻酔（鎮静剤）を使用した場合、24 時間以内は自転車・バイク・車の運転はおやめ下さい。
検査後に運転の予定がある場合は、静脈麻酔（鎮静剤）が使用出来ません

◆転倒防止のため、検査後は十分休んでから帰宅して頂いています。
お帰りを急ぐ場合は、静脈麻酔（鎮静剤）が使用出来ません。

□以上の説明文を読みました（☑してください）

以上、静脈麻酔（鎮静剤）使用による利点と危険性を十分理解した上で ※どちらかを〇で囲んで下さい。

静脈麻酔（鎮静剤）の使用を　（　希望します　・　希望しません　）

（西暦）　　年　　月　　日

日産自動車健康保険組合

日産メディカル

医師名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（西暦）　　年　　月　　日

受診者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿